



プレゼンテーション講習会 II



9 月 28 日(金)、群馬工業高等専門学校助教授の柴田恭幸先生をお招きして、2 年理数科の生徒を対象として、プレゼンテーション講習会 II を実施しました。

この講習会は、課題研究の実践的なプレゼンテーションの発表内容・発表方法などを学ぶことで、それぞれの研究グループのプレゼンテーション能力を向上させることを目的としたものです。また、併せて、これから本格化する学校内外の課題研究発表大会にむけて、スライドやポスターの実践的な作成方法も学びました。

柴田先生は、各研究グループの中に入って、それぞれの課題を具体的に指摘してくださったので、生徒たちは大変勉強になった様子で、講習会后早速、ポスターやプレゼンテーションの資料の追加・修正が活発化しました。



【生徒の感想から】

① 物理班

パワーポイントの文字の大きさや色が違うだけで、大きく印象が変わることに気づけました。また、話の導入のしかたなど、自分たちのプレゼンテーションで足りなかったところが明確になりました。アドバイスされたことを、資料の作成や、プレゼンテーションに構成に生かしていきたいです。



② 化学班

「希釈して吸光度が正確に測れない場合は、日にちごとでなく、時間ごとに測ってみればよい」など、研究内容そのものについても具体的なアドバイスをいただきました。プレゼンテーションの仕方については、「今後の課題」の設定理由を明確化させることや、図によって実験方法を可視化させることの大切さを教えてください、大変参考になりました。



③ 生物班

前半部分が頭に残るように最後にまとめの章を設けることや、難解な言葉を多用しすぎず素人にも分かりやすい説明に心がけること、パワーポイントの文字の色に工夫することなど、多くのアドバイスをいただきました。自分たちの研究について、「面白い」と言ってくださったことが嬉しかったです。練習不足で、満足な発表ができなかったので、練習を重ねて、堂々と発表できるように、また質問に適切に答えられるようにしたいです。



④ 地学班

導入として「鹿児島湾の成り立ち」といった背景を入れることで、聴衆を引きつけられると指摘され、自分たちの理解の浅い部分を知ることができました。作成したスライドに関する多くのアドバイスをいただきましたが、プレゼンテーションについては、「自信を持って発表する」こと、「推理小説のような構成にすること」の大切さを強調され、大変参考になりました。

